

宗谷地方周辺におけるホオジロ *Emberiza cioides* の生息・繁殖記録

長谷部 真

〒098-4100 北海道天塩郡豊富町西6条6丁目 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

Meadow Bunting *Emberiza cioides* Breeding and Observed Records around Soya Region

Makoto HASEBE

Sarobetsu Eco-Network, Nishi 6jo 6 choume, Toyotomi, Hokkaido, 098-4100 Japan

Abstract. I found the Meadow Bunting *Emberiza cioides* males, females and fledglings at Toyotomi Ski Ground at Toyotomi, Hokkaido in August 2022. This is the first breeding record of Meadow Bunting at Toyotomi, where is located on the north of the known northern end of breeding range between Enbetsu-Horonobe-Esashi lines. Meadow buntings were incidentally observed in migratory or breeding season at Wakkanai and Toyotomi, suggesting another breeding site will be possibly found by further survey.

ホオジロ *Emberiza cioides* は中国東部・北東部、ロシアバイカル・ウスリー地方、モンゴル北西部、天山・アルタイ山脈周辺、日本で生息する (Byers, *et al.*, 1995). 日本では全国で繁殖し、繁殖分布・個体数ともに日本産鳥類の中で10指に入る開けた環境を好む普通種である (鳥類繁殖分布調査会, 2021). しかし、北海道釧路・根室地方と宗谷地方北部の一部では、春や秋に渡りて通過する旅鳥である (正富・富士元, 1987; 利尻島自然情報センター, 2017; 寺沢, 2018; 貞国 2019; レブングル自然館, 2020). 宗谷地方とその周辺の枝幸町・中頓別町 (村山良子, 私信), 遠別町・幌延町問寒別・中川町以南で5月下旬ー7月にさえずりが普通に聞こえることから繁殖しているとみられるが (鳥類繁殖分布調査会, 2021; 黒田弘章, 未発表), 豊富町・天塩町・浜頓別町・猿払村・稚内市で繁殖情報はなく、春から夏にごく少数の記録があるのみである。私は2022年に豊富町でホオジロの繁殖を確認したため、周辺地域における確認状況を含めてここに報告する。

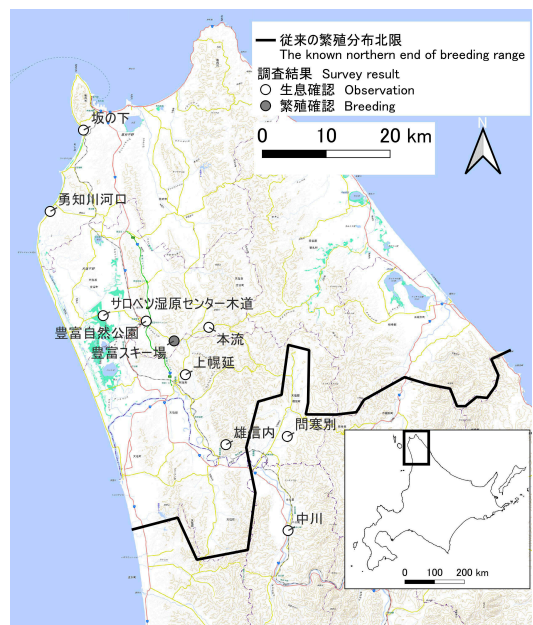


図1. ホオジロ調査結果と従来の繁殖分布の北限。
Figure 1. The result of Meadow Bunting survey and the known northern end of the breeding range.

私は2015年4月から2022年にかけて豊富町を中心に周辺で鳥類観察を行った。豊富町では2015年4月27日に自然公園で、2020年5月4日に本流で、2022年5月1日にサロベツ湿原センターの木道で、それぞれホオジロのオスを確認した(図1)。幌延町では2016年6月2日に雄信内で、2016年6月5日に上幌延で、2020年7月27日に問寒別で、中川町では2021年8月15日に中川で、稚内市では2016年6月8日に勇知川河口で、2020年7月21日に坂の下でそれぞれオスを確認した。確認した場所はいずれも灌木がある開けた環境だった。

2022年8月1日には豊富町のスキー場の一部灌木がある開けた草原でホオジロのオス・メス複数個体と餌運び、幼鳥を確認した(図1, 図2)。餌運びと巣立って間もない幼鳥を確認したことからこの場所でホオジロが繁殖していると判断した。豊富町におけるホオジロの繁殖は初めての記録である。

ホオジロは宗谷地方周辺では内陸部にある開けた場所を好むようで、一部の海岸沿いの記録を除くと内陸の河川沿い、または灌木の生える草原で記録された。しかし、豊富町3か所の記録は4-5月の渡りの時期に限られており、繁殖分布の北限は枝幸町、中頓別町、幌延町問寒別、遠別町にあった。豊富スキー場での記録はその北限を越える豊富町における初めての繁殖記録である(図1)。ここは従来の繁殖分布から離れているため飛び地的な場所である。周辺地域でホオジロの詳細な調査はこれまで行われていないため、実際の繁殖地は豊富町の内陸部に広がっている可能性がある。幌延町の雄信内と上幌延、稚内市の坂の下では繁殖期の6-7月に確認されているため、今後詳細な調査を行うことにより新たな繁殖が確認される可能性がある。道北だけでなく道東のかつてホオジロが繁殖していなかった釧路地方でも近年繁殖情報があるため(濱裕人、私信)ホオジロの繁殖分布が全道的に拡大している可能性がある。

宗谷地方の南はホオジロだけでなく、オオヨシキリ *Acrocephalus orientalis*、オオルリ *Cyanoptila cyanomelana*、クロツグミ *Turdus cardis*などは分布北限に位置している(鳥類繁殖分布調査会, 2021)。これらの種についても今後分布範囲が拡大する可能性



図2. ホオジロの幼鳥。

Figure 2. A fledgling of Meadow Bunting.

があるため、生息状況を注視する必要がある。

謝辞

本報告をまとめるにあたり、地域のホオジロの情報をお願いした村山良子氏、小俣孝範氏、小西敢氏、濱裕人氏にお礼を申し上げる。

文献

- Byers, C., U. Olsson & J. Curson, 1995. Buntings and sparrows. A guide to the buntings and North American sparrows. Pica press, Sussex. 334pp.
- 正富宏之・富士元寿彦, 1987. 北海道北部サロベツ原野の鳥類相II繁殖期の鳥. 専修大学北海道短期大学紀要, 自然科学編, (20): 253-280.
- 利尻島自然情報センター, 2017. 利尻島の野鳥リスト. 利尻島自然情報センター. 自刊.
- レブンクル自然館, 2020. 礼文島の野鳥 野鳥リスト 26. レブンクル自然館. 自刊. 12pp.
- 貞国利夫, 2019. 釧路湿原鳥類目録 - 1935年〜2019年の記録 -. 釧路市博物館紀要, (38):23-80.
- 寺沢孝毅, 2018. 天売島鳥類目録. 天売島ビジターセンター海の宇宙館, 自刊. 27pp.
- 鳥類繁殖分布調査会, 2021. 自然環境保全基礎調査. 全国鳥類繁殖分布調査報告. 日本の鳥の今を描こう. 2016-2021年. 鳥類繁殖分布調査会, 府中市, 176pp.